

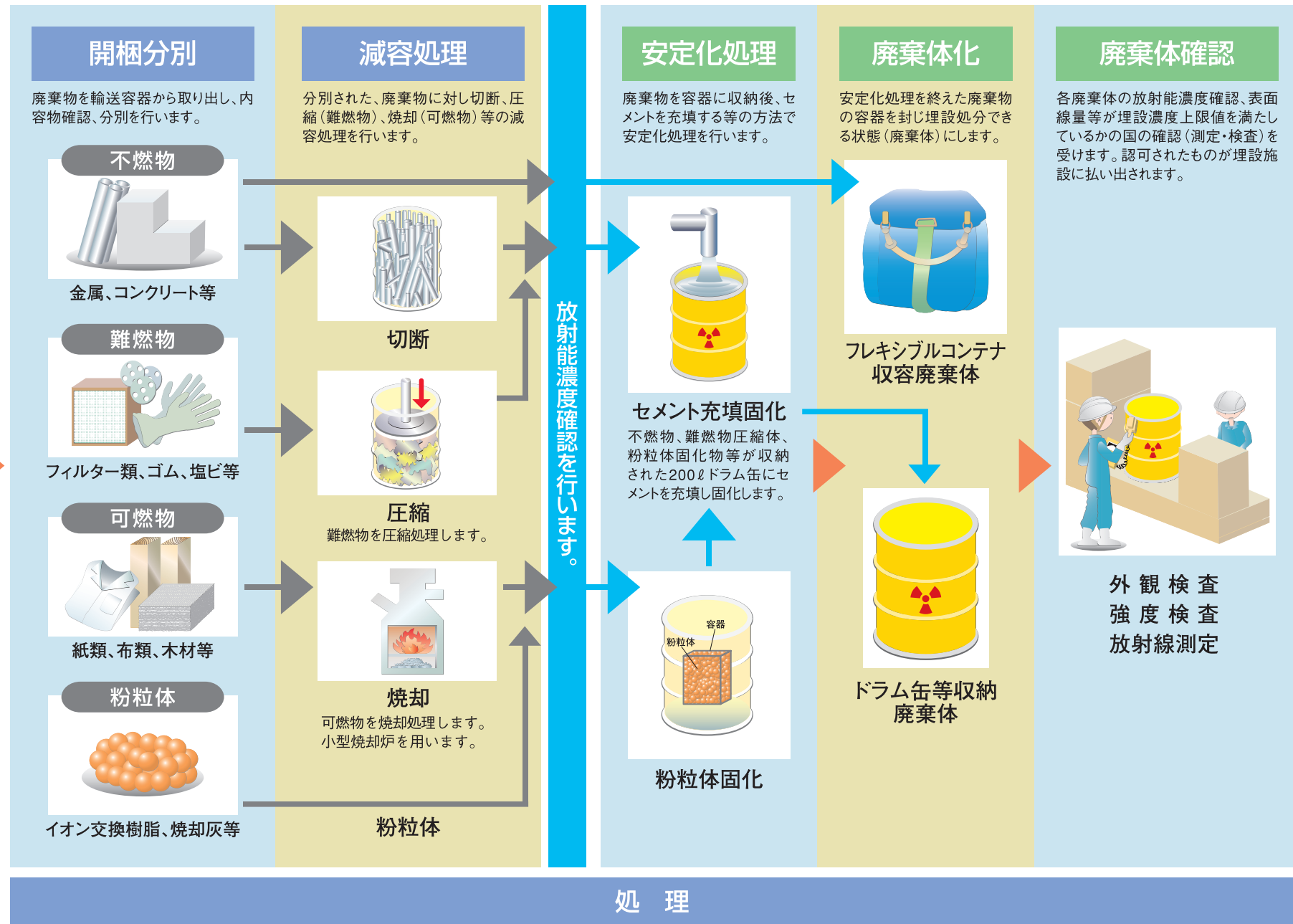
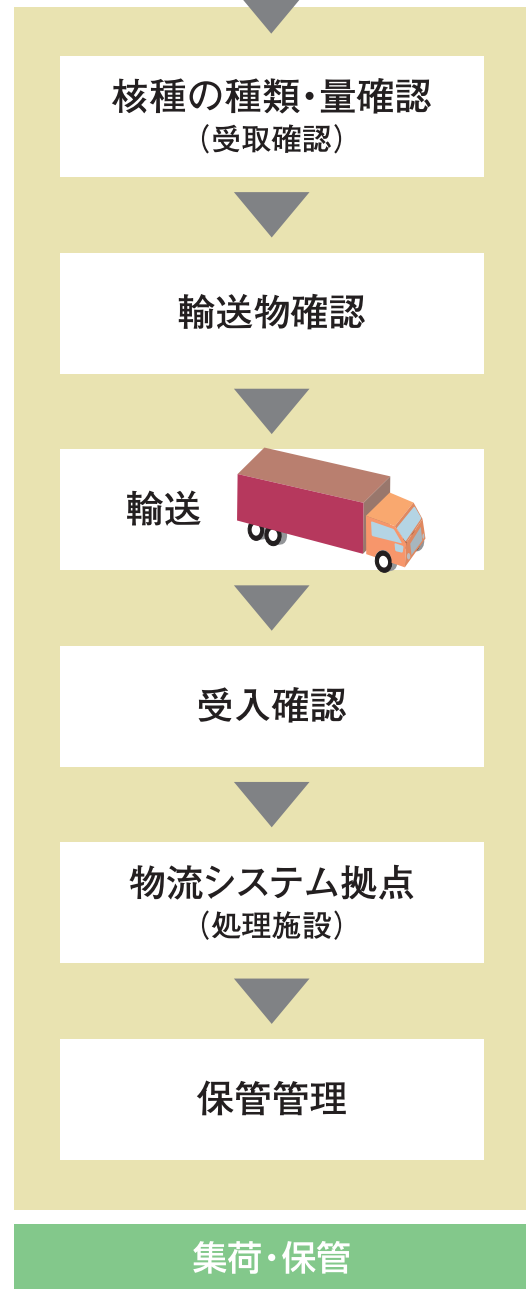
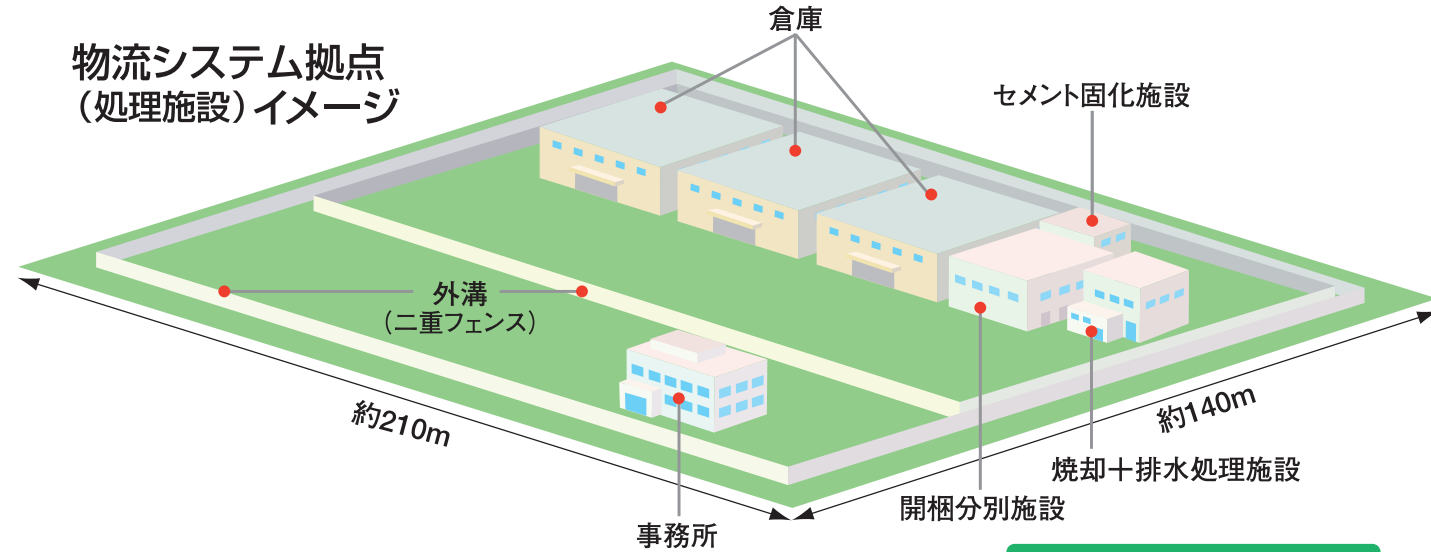
物流システムの流れ



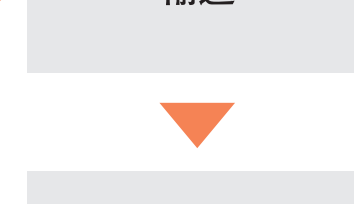
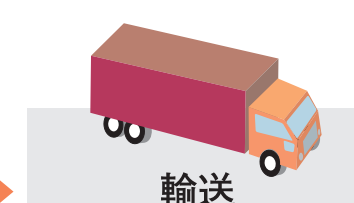
大学・民間の研究施設など
廃棄物発生事業所

物流システムでは、全国の事業所で発生し、管理されている研究施設等廃棄物の集荷を行い、物流システム拠点(処理施設)まで安全に輸送します。集荷された廃棄物を保管管理し、それぞれの廃棄物の性状に合わせた適切な処理を行うことにより、埋設処分に適した状態(廃棄体)にします。そして最終的に国による廃棄体確認検査を経て埋設施設に輸送します。「集荷」「保管」「処理」それぞれの工程において、安全確保のための高い品質管理を行います。

物流システム拠点 (処理施設)イメージ



● 処理能力：約2千本/年
● 保管能力：約3万本



埋設事業者(原子力機構)へ引き渡し

製造した廃棄体は、一定期間保管した後、埋設施設の計画に従って埋設施設まで輸送し、埋設処分されます。